

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム たのしい家小倉北

作成日: 令和 02 年 3 月 28 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	ホームからの報告が中心の会議となっている。 参加委員の増員やテーマを決めた会議の開催等、今後の会議の発展に向けて検討し取り組んでいく。	薬剤師や歯科衛生士、公民館館長、元家族、他グループホーム管理者等、参加委員を増やし、薬について、口腔ケアについて等、ミニ勉強会を行ったり、地域の困り事の解決に向けて話し合う等、ホームと地域、双方の発展に繋がる会議運営に取り組んでいく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出支援	職員不足や諸事情により、日常的な外出の支援が難しいため、職員配置の工夫や、職員の増員を図り、ゆとりの持てる介護サービスに取り組んでいる。	家族やボランティアの協力を得て、外出の機会を増やし、外出レクレーションの担当を決めて、積極的に外出レクに取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。